

平成 28 年度(2016 年度)【平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月】企業訪問実績

1 訪問実績

月	訪問企業数		訪問業種	
	内 訳			
平成 28 年 4 月	22 社	既訪問(～平成 27 年度)	10 社	<訪問業種合計> 製造業 7 社、卸業 8 社 その他 7 社
		既訪問(平成 28 年度)	0 社	
		新規訪問	12 社	
5 月	18 社	既訪問(～平成 27 年度)	12 社	<訪問業種合計> 製造業 9 社、卸業 2 社 その他 7 社
		既訪問(平成 28 年度)	0 社	
		新規訪問	6 社	
6 月	23 社	既訪問(～平成 27 年度)	12 社	<訪問業種合計> 製造業 11 社、卸業 1 社 その他 11 社
		既訪問(平成 28 年度)	1 社	
		新規訪問	10 社	
7 月	25 社	既訪問(～平成 27 年度)	10 社	<訪問業種合計> 製造業 10 社、卸業 11 社 その他 4 社
		既訪問(平成 28 年度)	1 社	
		新規訪問	14 社	
8 月	15 社	既訪問(～平成 27 年度)	8 社	<訪問業種合計> 製造業 8 社、卸業 3 社 その他 4 社
		既訪問(平成 28 年度)	0 社	
		新規訪問	7 社	
9 月	23 社	既訪問(～平成 27 年度)	6 社	<訪問業種合計> 製造業 9 社、卸業 8 社 その他 6 社
		既訪問(平成 28 年度)	2 社	
		新規訪問	15 社	
10 月	20 社	既訪問(～平成 27 年度)	7 社	<訪問業種合計> 製造業 7 社、卸業 6 社 その他 7 社
		既訪問(平成 28 年度)	0 社	
		新規訪問	13 社	
11 月	22 社	既訪問(～平成 27 年度)	13 社	<訪問業種合計> 製造業 5 社、卸業 8 社 その他 9 社
		既訪問(平成 28 年度)	2 社	
		新規訪問	7 社	
12 月	17 社	既訪問(～平成 27 年度)	7 社	<訪問業種合計> 製造業 5 社、卸業 5 社 その他 7 社
		既訪問(平成 28 年度)	1 社	
		新規訪問	9 社	
平成 29 年 1 月	18 社	既訪問(～平成 27 年度)	2 社	<訪問業種合計> 製造業 9 社、卸業 3 社 その他 6 社
		既訪問(平成 28 年度)	3 社	
		新規訪問	13 社	
2 月	21 社	既訪問(～平成 27 年度)	9 社	<訪問業種合計> 製造業 15 社、卸業 1 社 その他 5 社
		既訪問(平成 28 年度)	4 社	
		新規訪問	8 社	

3 月	25 社	既訪問(～平成 27 年度)	16 社	<訪問業種合計> 製造業 12 社、卸業 7 社 その他 6 社
		既訪問(平成 28 年度)	1 社	
		新規訪問	8 社	
平成28年度 合 計	249 社	既訪問(～平成27年度)	112 社	<訪問業種合計> 製造業 107 社、卸業 63 社 その他 79 社
		既訪問(平成28年度)	15 社	
		新規訪問	122 社	

2 主な訪問成果等

- (1) 新規訪問企業件数を増やし、年間 122 社となり吹田市施策周知の促進ができた。
【平成 25 年度(39 社)、平成 26 年度(47 社)、平成 27 年度(79 社)】。
- (2) 企業振興施策(補助金)への申請促進を図れた。
- (ア) 地元企業等共同研究開発事業補助金 ⇒ 応募6社
 - (イ) 展示会等出展事業補助金 ⇒ 応募23社
 - (ウ) 知的財産権取得事業補助金 ⇒ 交付6社
 - (エ) エコアクション 21 認定取得事業補助金 ⇒ 交付2社
 - (オ) 中小企業ホームページ作成事業補助金 ⇒ 応募6社
- (3) マッチング事業の推進を図った(7社成立)
- (ア) 日本製で高級皮ケース製造企業(吹田市)を紹介
 - (イ) 自社水処理システムをマッチング希望先(吹田市)へ紹介
 - (ウ) 抗菌鉱石水性ペンキの検証データ取得へ2機関紹介
 - (エ) 自社製品リサーチ、サンプリング先として2大学(吹田市)を紹介
 - (オ) 吹田市内農家へのセミナーにより、マッチング機会創出
 - (カ) 旋盤・フライス加工出来る企業(吹田市)を2社紹介
 - (キ) 吹田名物土産として大阪もん認定店(吹田市)を紹介・推薦する
- (4) 新卒募集人材難企業への吹田企業合同説明会を紹介 ⇒ 希望企業紹介9社

3 訪問企業からの要望等

- (1) 展示会等出展事業補助金の補助対象期間に上半期も加えて欲しい、又横浜パシフィコも対象展示会場にして欲しい。特にスポーツ関連イベントは全て横浜パシフィコに移り開催されているため。
- (2) ホームページ作成事業補助金の補助対象を拡充しリニューアルも対象にして欲しい。
- (3) 企業定着型環境配慮事業補助金の対象業種を拡充し製造業以外へも適用して欲しい。
- (4) 江坂～吹田市役所間の交通機関整備、便利向上を図って欲しい。
- (5) 大阪学院大学以外の大学でも吹田企業合同説明会を実施して欲しい。
- (6) 個人経営者の事業承継について吹田市で受け皿を作る等の対策を講じて欲しい。
- (7) 法務局が茨木移転したことにより、インターネットで入手できない証明書の取得に苦勞するようになった。せめて出張所を吹田市に設けて欲しい。
- (8) 事業拡大及び手狭から移転用地を吹田市内で探すも適当な用地を見つけるのは難しい。市が紹介する又は市遊休物件の有効活用を図って欲しい。
- (9) 人材確保に困っている、施策を強化して欲しい。
- (10) 吹田市の企業に勤務する社員の吹田市へ定住促進施策が欲しい。(結婚補助金、保育所の整備、家賃補助等)。
- (11) 吹田市が最先端の人工知能集積都市を目指して欲しい。

4 訪問活動における課題等

- (1) 展示会等出展事業補助金は施策のニーズが高く、年々応募は増えており、予算的に不採択企業が増える傾向にある。
- (2) ホームページ作成事業補助金は既存企業では、ほとんど交付対象と成り得ず、ほぼ起業者向けとなっている。一方リニューアル補助ニーズは圧倒的に多く、優れて発展性あるリニューアルは対象とする制度も検討の余地がある。新規向けとリニューアル向け二通りあっても良い。
- (3) 中小企業大学校受講補助金は関西本校が遠隔地の為、ニーズはあっても利用されにくい。
- (4) 企業立地促進奨励金は現行制度での対象企業数が少ない。吹田市には卸売やサービス業も多く立地場所は交通の利便性が重視される傾向にある。一方で市内でも交通利便性の高い江坂駅周辺はコストが高く、又流動性が無く、土地・建物の取得が難しい状況である。
- (5) 中小企業の人材難に対して、現状ではJOBナビすいた、吹田企業合同説明会を紹介し利用促進を勧めているが根本的な解決には至っていない。
- (6) エコアクション 21 認定取得事業補助金は中小企業の大半がエコアクション 21 の認証取得を必要としておらずニーズが低い。
- (7) 吹田市の企業に勤務する社員を吹田市へ定住させる施策や補助金の要望は高いが、現状補足できる制度はない。
- (8) 新規訪問先を開拓するために、商工会議所と連携し会員企業への訪問を実施。さらなる訪問先の開拓は必要。
- (9) 訪問時に吹田市への意見要望を聞いているが、その場ですぐには意見要望が出にくい傾向がある。